

2020年度 日本気象学会東北支部第2回理事会 議案

日時：2021年3月5日（金）

議 題

1. 2020年度事業報告	2 ページ
2. 2020年度会計報告	5 ページ
3. 2020年度会計監査報告	6 ページ
4. 2021年度事業計画案	
(1) 支部理事会	7 ページ
(2) 支部だより	7 ページ
(3) 支部気象講演会	7 ページ
(4) 支部気象研究会	8 ページ
(5) 日本気象予報士会東北支部と連携した活動	8 ページ
(6) 日本気象学会小倉奨励賞などへの応募	8 ページ
5. 2021年度予算案	9 ページ
6. 検討事項	
(1) 支部長会議の報告	10 ページ
(2) 2028年度気象学会秋季大会の会場について	10 ページ
7. その他 事務局から	11 ページ

資 料

役員名簿（第32期2020年度）	12 ページ
東北支部規則	13 ページ
東北支部細則	14 ページ

議題 1. 2020年度事業報告

1 2020年度支部活動報告

1) 東北支部だより発行

■第91号（2020年10月発行）

- ・ 支部長就任あいさつ
- ・ TOPIC「雪氷災害の現状と対策の課題」：小杉 健二氏（国立研究開発法人防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄雪氷環境実験所）
- ・ 報告「JETT（JMA Emergency Task Team 気象庁防災対応支援チーム）熊本県芦北町派遣体験記」：小澤 英司氏（仙台管区気象台気象防災部予報課）
- ・ 日本気象学会東北支部第32期役員選挙結果について 投票結果の公示
- ・ 2019年度 日本気象学会東北支部第2回理事会 議事抄録
- ・ 2020年度 日本気象学会東北支部第1回理事会 議事抄録
- ・ 日本気象学会東北支部気象講演会について
- ・ 東北支部「気象研究会」の開催案内と講演募集
- ・ 事務局からのお知らせ

■第92号（2021年3月発行予定）

- ・ TOPIC「三陸沿岸の冬季強風の高解像度シミュレーション」
：伊藤 純至氏（東北大学大学院理学研究科）・名越 利幸（岩手大学教育学部）
- ・ 報告1「2020年度 日本気象学会東北支部気象研究会」：日本気象学会東北支部事務局
- ・ 報告2「2020年度 日本気象学会東北支部気象講演会」：日本気象学会東北支部事務局
- ・ 2020年度日本気象学会東北支部臨時理事会 議事抄録
- ・ 事務局からのお知らせ

2) 東北支部気象講演会

日 時：2020年12月12日（土）14時00分～16時00分

会 場：オンライン開催（仙台管区気象台より配信）

テーマ：「東北地方の気象災害 ～現状とその背景～」

講演者：岩井 弘樹氏（仙台管区気象台気象防災部次長）

早坂 忠裕氏（東北大学大学院理学研究科 教授、東北大学大学院理学研究科
附属大気海洋変動観測研究センター長、国立研究開発法人宇宙航空研究開発
機構第一宇宙技術部門地球観測研究センター参与）

参 加：185名

主 催：日本気象学会東北支部

共 催：仙台管区気象台

後 援：宮城県、仙台市、日本気象協会東北支社、日本気象予報士会東北支部、地球
ウォッチャーズ-気象友の会-

3) 東北支部気象研究会

仙台管区気象台東北地方調査研究会との共催

日 時：2020年12月7日（月）10時30分～17時15分

会 場：仙台第3合同庁舎2階大会議室（仙台管区気象台）

講 演：18題

参加者：30名（会場参加のみ、その他Zoom、YouTubeによるオンライン配信も実施）

気象研究会の発表演題、著者（敬称略、発表者に○）

なお紙面の都合上、仙台管区気象台東北地方調査研究会の題目は省略

- ・線状降水帯の高解像度理想実験
○伊藤純至（東北大学大学院理学研究科）、津口裕茂（気象庁）、林修吾（気象研）、新野宏（東大 AORI）
- ・2019年10月25日のCADに伴う千葉県の大雨の地形・境界層スキームに対する感度
○小原涼太、岩崎俊樹、山崎剛（東北大学大学院理学研究科）、鈴木健斗（気象庁情報基盤部）
- ・2014年12月16日に発生した晴天乱気流事例のWRF-LESによる解析
○吉村僚一（東北大学工学研究科航空宇宙工学専攻）、鈴木健斗（気象庁情報基盤部）、伊藤純至（東北大学大学院理学研究科）、焼野藍子、大林茂（東北大学流体科学研究所）、菊地亮太（京都大学産官学連携本部）
- ・機械学習を用いたひろだい白神レーダーによる冬季降雪量推定
○谷田貝亜紀代、今井雅、前田未央（弘前大学大学院理工学研究科）
- ・北西太平洋におけるTropical Cycloneに伴う降水分布の解析
○谷田貝亜紀代、坂下悠乃、白川彩乃（弘前大学大学院理工学研究科）
- ・MJOに伴う海大陸西側における対流雲の変動
○佐藤拓実、岩渕弘信（東北大学大学院理学研究科）
- ・陸面過程モデルを用いた凍霜害の推定
○岩波 発彦、山崎剛（東北大学大学院理学研究科）
- ・秋田県大潟村におけるダイズの生育と土壌水分・気象との関係
○伊勢貴之、井上誠、木口倫、佐藤孝、保田謙太郎（秋田県立大学）

- ・ 気象庁非静力学モデルデータの農業利用に関する研究
—陸面過程を用いた凍霜害の予測を目指して—
○池田翔（山形地方気象台）
- ・ 宮城県，東北地方における地球温暖化に伴う気候変化
○山崎剛、諸岡浩子、岩崎俊樹（東北大学大学院理学研究科）

また、日本気象学会東北支部発表賞の今年度の受賞者は以下のとおり。

- 池田翔（山形地方気象台）
「気象庁非静力学モデルデータの農業利用に関する研究
—陸面過程を用いた凍霜害の予測を目指して—」
- 小原涼太（東北大学大学院理学研究科）
「2019年10月25日のCADに伴う千葉県の大雨の地形・境界層スキームに対する感度」

4) 支部理事会

- ・ 第1回（書面開催 2020年7月1日～同月10日）
- ・ 臨時理事会（書面開催 2020年12月16日～同月23日）
- ・ 第2回（Web開催 2020年3月5日）

- 5) 日本気象予報士会東北支部と連携した活動（気象サイエンスカフェ東北）
今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止することとした。

6) 日本気象学会小倉奨励賞の推薦

- ・ 推薦はなし

議題2. 2020年度会計報告 (2021年3月5日時点)

〔〔支部一般会計〕 (2020年4月1日～2021年2月19日)〕

	予算額	決算額	差異 [予算-決算]
I 収入の部			
事業活動収入			
本部交付金			
一般交付金(仮名)	*1 538,400円	538,400円	0円
普及啓発活動への助成	40,000円	40,000円	0円
気象予報士会東北支部分担金	*2 20,000円	0円	20,000円
前期繰越金	156,515円	156,515円	0円
事業収入(広告料等)	0円	0円	0円
雑収入			
預金利息	5円	3円	2円
事業活動収入計(1)	754,920円	734,918円	20,002円
II 支出の部			
事業活動支出			
事業費支出			
支部気象講演会	250,000円	110,669円	139,331円
支部気象研究会	100,000円	36,184円	63,816円
支部だより	200,000円	98,456円	101,544円
気象サイエンスカフェ東北	60,000円	0円	60,000円
ホームページ運営費	15,000円	15,000円	0円
管理費支出			
支部理事会	85,000円	1,260円	83,740円
支部役員選挙	30,000円	25,819円	4,181円
事務費	10,000円	0円	10,000円
事業活動支出計(2)	750,000円	287,388円	462,612円
III 予備費支出			
予備費支出	4,920円	0円	4,920円
予備費支出計(3)	4,920円	0円	4,920円
当期収支 (A)=(1)-(2)-(3)	0円	447,530円	
次期繰越額 (A)-(残りの支出予定額)	0円	447,530円	

*1一般交付金は、支部会員157名×1,200円+35万円。

*22020年度気象予報士会東北支部分担金は予定。

黄色塗りつぶしは、今年度まだ事業(支出予定)が残っているもの

緑色塗りつぶしは、2020年度からの新規項目(支部会計基金の廃止に伴い移動してきた項目)を含む

議題3. 2020年度会計監査報告（2021年3月5日時点）

預金通帳、領収書を照合の結果、誤りが無いことを認めます。

2021年2月24日

日本気象学会東北支部会計監査

岩井弘樹



議題4. 2021年度事業計画案

2 2021年度支部活動計画

1) 東北支部理事会の開催

- ・例年は年2回（5～6月、3月頃予定）開催している。
- ・議論が必要な場合は、適宜臨時理事会を開催する。

2) 東北支部だより発行

- ・年2回発行(第93号、94号)の予定。
- ・作業簡略のため、発行作業は原稿のとりまとめまでとし、編集、印刷及び会員への発送は2020年度と同様に業者発注とする。

3) 東北支部気象講演会

【概要】

日 時：未定

会 場：未定

テーマ：未定

- ・2021年度は福島県で開催予定※、テーマ等は未定。今後準備を進めていく。

2013年度以降の開催状況

年度	開催地	講演者		
2013年度	弘前市	楠 研一	児玉 安正	
2014年度	福島市	渡邊 明	小畑 英樹	
2015年度	仙台市	岩崎 俊樹	小森 大輔	廣川 康隆
2016年度	盛岡市	山本 浩之	名越 利幸	
2017年度	秋田市	和田 幸一郎	本谷 研	
2018年度	山形市	小杉 健二	川瀬 宏明	
2019年度	弘前市	加藤 輝之	木所 英昭	
2020年度	仙台市 (web開催)	岩井 弘樹	早坂 忠裕	

方針：気象講演会は原則として「持ちまわり」で開催する。ただし、他のイベント等との同年開催については配慮を行うとともに、会員等からの開催・運営の意向があった場合、宮城県等他県での開催も可能とし、担当理事がこれを調整する。なお開催地を変更する場合は、準備の都合上、開催前年度の第2回理事会前（例年2月～3月）に東北支部事務局へ通知することとする。

4) 東北支部気象研究会

2021年度の開催については、仙台管区気象台 防災調査課と検討し、気象台の東北地方調査研究会と東北支部気象研究会の合同発表会の形式で行うことを計画する。

5) 日本気象予報士会東北支部と連携した活動（気象サイエンスカフェ東北）

- ・第11回気象サイエンスカフェ東北を、仙台市で開催する。テーマや講師等は、日本気象予報士会東北支部と連携して検討を行う。

【概要】

日 時：未定

会 場：未定

テーマ：未定

6) 日本気象学会小倉奨励賞などへの推薦

議題5. 2021年度予算案

〔支部一般会計〕（※マイナスの金額には、△印を付した。）

	2021年度 予算額	2020年度 予算額	予算増減額 [2021年—2020年]	2020年度 決算額
I 収入の部				
事業活動収入				
本部交付金				
一般交付金(仮名)	*1528,800円	538,400円	△9,600円	538,400円
普及啓発活動への助成	40,000円	40,000円	0円	40,000円
気象予報士会東北支部分担金	*220,000円	20,000円	0円	0円
前期繰越金	*3300,000円	156,515円	143,485円	156,515円
事業収入(広告料等)	0円	0円	0円	0円
雑収入				
預金利息	5円	5円	0円	3円
事業活動収入計(1)	888,805円	754,920円	133,885円	734,918円
II 支出の部				
事業活動支出				
事業費支出				
支部気象講演会	250,000円	250,000円	0円	110,669円
支部気象研究会	100,000円	100,000円	0円	36,184円
支部だより	200,000円	200,000円	0円	98,456円
気象サイエンスカフェ東北	60,000円	60,000円	0円	0円
ホームページ運営費	15,000円	15,000円	0円	15,000円
管理費支出				
支部理事会	85,000円	85,000円	0円	1,260円
支部役員選挙	0円	30,000円	△30,000円	25,819円
事務費	10,000円	10,000円	0円	0円
事業活動支出計(2)	720,000円	750,000円	△30,000円	287,388円
III 予備費支出				
予備費支出	168,805円	4,920円	163,885円	*3447,530円
予備費支出計(3)	168,805円	4,920円	163,885円	447,530円
当期収支差額 (A)=(1)-(2)-(3)	0円	0円	0円	0円

*1一般交付金は、2/19現在の会員数から149名×1,200円+35万円を見込む。

*22021年度気象予報士会東北支部分担金は予定。

*3 想定される繰越額は暫定。2/19時点での収支差額を予備費の支出項に暫定的に入れている。

黄色塗りつぶしは、2020年度まだ事業(支出予定)が残っているもの(2020年度決算額)、それに伴い確定されないもの(2021年度予算額・予算増減額)。

議題6. 検討事項

(1) 支部長会議の報告

別紙資料参照

(2) 2028年度日本気象学会秋季大会の会場について

仙台における気象学会秋季大会の会場については、仙台国際センターを第一候補とするよう、支部事務局で引継ぎを受けている※。

また、仙台国際センターは地下鉄東西線「国際センター駅」が新設されたことなどにより、予約が増えてきており、1つの大会が終了したら、2つ先の大会の会場を予約することも、同様に引継ぎされている。

一方、仙台国際センターでは2025年に会議棟中心の大規模な改修工事を予定しており、現在2025年以降の予約を受け付けていない。ただし改修工事は遅くとも2027年には完了する見込みで、現段階で2028年の予約を受け付けてもらえるかどうか確認中である。

事務局としては、引き続き仙台国際センターを第一候補として2028年の秋季大会会場確保の手続きを進めたい。

※候補地としては、仙台国際センターのほか、①東京エレクトロンホール宮城（県民会館）や②市民会館、③東北大学が想定される。しかし①～③の施設は単独で4会場以上を確保することができず、複数施設（たとえば①と②）を組み合わせる必要があり、主催者および参加者どちらにとっても利便性が悪い。

議題7. その他（事務局から）

① 東北支部会員数（個人会員）

2021年2月19日現在

県名	会員数	2020.04
青森県	23名	24名
岩手県	11名	10名
秋田県	14名	15名
山形県	15名	16名
宮城県	65名	69名
福島県	21名	22名
合計	149名	156名

7名減

支部メーリングリスト登録者数

2021年2月19日現在

県名	登録者数	2020.04
青森県	20名	21名
岩手県	7名	7名
秋田県	13名	14名
山形県	12名	11名
宮城県	62名	61名
福島県	17名	18名
合計	131名	132名

1名減

② 旅費等について

交通費については

青森は 22,900円 [11,420円×2]

弘前は 23,300円 [11,640円×2]

秋田は 21,100円 [10,560円×2]

盛岡は 13,600円 [6,790円×2]

山形は 2,400円 [1,170円×2]

福島は 2,700円 [1,340円×2]

仙台、岩沼は片道500円をお願いします。

※100円未満の端数は切り上げています。

なお、支部活動における旅費の支給は、上記に準ずるものとします。

消費税率引き上げ（2019年10月1日）による運賃・料金の改正を適用。

日本気象学会東北支部第 32 期 2020 年度役員名簿

2020 年 7 月 1 日現在

支部長	小泉 耕	仙台管区气象台長
常任理事	鎌田 浩嗣	仙台管区气象台気象防災部長
	菅原 敏	宮城教育大学教授（理科教育講座）
	杉山 公利	日本気象予報士会東北支部長
	永山 隆治	仙台管区气象台気象防災部予報課長
	奈良 慶	日本気象協会東北支社総務課長
	森本 真司	東北大学大学院教授（理学研究科）
	山崎 剛	東北大学大学院教授（理学研究科）
地方理事	中舘 明	福島地方气象台長
	谷田貝 亜紀代	弘前大学大学院教授（理工学研究科）
会計監査	岩井 弘樹	仙台管区气象台気象防災部次長
幹事	岩淵 弘信	東北大学大学院准教授（理学研究科）
	淵上 隆雄	仙台管区气象台気象防災部防災調査課 調査官
	山口 純平	仙台管区气象台気象防災部観測課技官

日本気象学会東北支部規則

昭和 32. 5. 26	成立
昭和 32. 7. 5	第 8. 11 条を改正、 第 15～19 条を追加
昭和 40. 11. 18	第 8 条を改正
昭和 56. 10. 12	第 2 条を改正
昭和 60. 3. 19	第 9 条を改正
平成 2. 6. 21	第 8 条を改正
平成 6. 2. 28	第 8. 9. 12. 14. 18 条を改正
平成 9. 6. 3	第 2 条を改正
平成 22. 6. 11	第 8 条を改正
平成 25. 6. 20	第 1. 2. 18 条を改正
平成 27. 3. 12	第 18 条を改正
平成 28. 2. 29	第 13 条を改正

- 第 1 条 本支部は公益社団法人日本気象学会東北支部という。
- 第 2 条 本支部は事務所を仙台市宮城野区五輪一丁目 3 番 15 号第 3 合同庁舎、仙台管区気象台内に置く。
- 第 3 条 本支部は東北 6 県に在住する全ての日本気象学会員で構成される。
- 第 4 条 本支部は日本気象学会の定款の範囲内で事業を行うが、特に支部会員の研究の奨励、推進ならびに相互の連絡につとめることを目的とする。
- 第 5 条 本支部は前条の目的を達成するために、講演会ならびに学術的会合の開催、その他この支部の目的にかなう事業を行う。
- 第 6 条 本支部の事業年度は毎年 4 月 1 日にはじまり、翌年 3 月 31 日に終わる。
- 第 7 条 本規則の実行に必要な細則は、支部理事会の決議によって別に定める。
- 第 8 条 本支部に次の役員を置く。
理事 8～11 名（常任理事 2～8 名内支部長 1 名）、会計監査 1 名。
- 第 9 条 理事および会計監査は支部会員の選挙によって定める。
ただし、任期中に欠員が生じた場合は細則の定めるところによって補充する。
- 第 10 条 支部長および常任理事は理事の互選によって理事の中から定める。
- 第 11 条 支部長はこの支部を代表して会務を総理する。支部長に事故があるとき、または欠けたときは、支部長があらかじめ指名した常任理事がその職務を代行する。
- 第 12 条 理事はこの支部の会務を行う。会計監査は支部の会計を監査する。
- 第 13 条 支部長は必要に応じ、会務の一部を処理するため幹事（3～4 名）を置くことができる。
- 第 14 条 理事および会計監査の任期は 2 年とする。ただし、重任は妨げない。
理事および会計監査は任期満了後も後任者の就任するまでその職務を行う。
- 第 15 条 支部長は毎年 1 回および必要に応じて理事会を招集する。
- 第 16 条 理事会は過半数の理事の出席がなければ成立しない。
- 第 17 条 支部長は次の事項を理事会の承認を得て会員に報告しなければならない。
（1）事業計画および収支決算
（2）その他理事会において必要と認めた事項
- 第 18 条 本支部の経費は本部交付金（支部強化基金を含む）と寄付金とする。
- 第 19 条 この規約は理事の 3 分の 2 以上の賛成を得なければ変更することができない。
- 付則
- 第 20 条 この支部の設立当初の役員は設立準備会でこれを選任する。

以上

日本気象学会東北支部細則

昭和 33. 7. 5	成立
昭和 40. 11. 18	1 項を改正
昭和 41. 3. 15	7 項を改正
昭和 60. 3. 19	12、13、14 の各項目を改正
平成 6. 2. 28	1、8、9、12、13 の各項目を改正
平成 22. 6. 11	1 項を改正
平成 27. 3. 12	1 項を改正
令和 1. 7. 10	日本気象学会東北支部発表賞の条項を追加

1. 理事選挙

- 1 理事は東北地区在住の会員より 8～11 名選出する。このうち在仙理事 5～8 名、地方理事若干名とする。
会計監査は東北地区在住の会員より 1 名を選出する。
- 2 次期理事の定数および在仙・地方別理事数は理事会で決定する。
- 3 候補者は理事会の推薦者および立候補者とし、投票締切日の 20 日前までに決定のうえ、会員に周知させるものとする。
- 4 立候補者は投票締切日の 30 日前まで支部長宛に届け出るものとする。
- 5 投票は無記名連記とする。ただし、連記数は第 2 項の決定による在仙・地方別理事数とする。
- 6 投票は文書投票とする。
- 7 有効投票により、各地区別に投票の多い順に次期理事を決定する。同数の場合は年少者を上位とする。ただし、得票数が有権者の 10 分の 1 に満たない者は理事に就任することができない。次点者も同様とする。
- 8 当選者が理事および会計監査就任を辞退した場合は次点者を繰り上げる。
- 9 理事および会計監査に欠員が生じた場合の補充は次点者をあてる。
- 10 開票は常任理事立ち会いのもと行う。
- 11 開票の結果は会員に報告する。
- 12 理事および会計監査に欠員を生じ、第 9 項による補充ができない場合は、理事会の推薦によって補充する。
- 13 第 9 項または第 12 項による補充理事および会計監査の任期は前理事および会計監査の残存期間とする。
- 14 そのほか選挙にあたって必要事項は支部長が決定し、事後に理事会に報告する。

2. 日本気象学会東北支部発表賞

- 1 日本気象学会東北支部発表賞（以下「支部発表賞」という。）受賞者を選定するため、支部発表賞候補者推薦委員会を設ける。
- 2 委員会は支部常任理事および支部長が指名した支部会員をもって組織する。
- 3 委員会は、支部研究発表会において優れた講演を行った支部会員から、原則として 2 名程度を選び、受賞者を支部理事会に推薦する。原則、半数以上を学生会員とする。ただし、委員は受賞対象とはならない。
- 4 支部発表賞は賞状・副賞（賞金）とし、これを受賞者に贈呈する。

以上